

整備事業  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(福岡県 令和2年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② 成果目標の具体的な実績①	メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						メニュー③ 成果目標の具体的な実績②	メニュー③ 成果目標の具体的な内容③	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時(平成29年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			計画時(平成29年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
筑前町	筑前あさくら農協	土地利用型作物(麦)	麦の1等比率の向上	67.1%	68.5%	75.7%	95.4%	82.1%	188.7%	麦の1等比率は、95.4%となった。	土地利用型作物(稲)	稲の高温耐性品種の作付割合の拡大	125ha	134.5ha	131.5ha	145.0ha	140ha	168.6%	高温耐性品種の作付割合は、51.3%となった。	穀類乾燥貯蔵施設 ・乾燥設備 ・バーナー50t×5基 ・湿式集塵装置処理量7,500m <sup>3</sup> /min ・建設工事	507,110,760	234,773,000	0	0	272,337,760	平成31年3月9日	乾燥機の導入による品質劣化の解消および高温耐性品種への誘導を進めた結果、目標を達成することができた。今後も栽培層に基づく適切な栽培管理の徹底とともに、高温耐性品種への作付誘導を図り、実需者に求められる品質をめざしていく。	本事業により整備した乾燥設備の活用や事業実施主体の高温耐性品種の作付推進により、目標を達成することができた。今後も実需者に求められる品質向上への取組を支援していく。	
宗像市	デリカフーズ株式会社	大根 キャベツ レタス トマト 長茄子 長葱 小葱 みず菜 その他野菜	デリカフーズの生産者別品目別の仕入数量実績、生産者の品目別出荷量実績から、生産者の全出荷量に占める契約取引の割合を算出。 5.2%	5.2%	5.2%	5.2%	5.2%	5.2%	-6.3%	新型コロナウイルス感染症拡大により、外食産業向け品目の需要が変化した。配送最低ロット数を満たさない等の理由により、協議会員から原料調達ができず、市場調達が増えた。結果、生産者別品目別の仕入購入実績は557tから457tに減少し、生産者の全出荷量に占める契約取引の割合は4.3%となった。	大根 キャベツ レタス トマト 長茄子 長葱 小葱 みず菜 その他野菜	デリカフーズの生産者別品目別の仕入数量実績より算出 取引量557t/年 大根 25t キャベツ 57t レタス 370t トマト 28t 長茄子 28t 長葱 13t 小葱 2t みず菜 23t その他野菜 11t	現在、施設を建設中	施設完成が年度末だったため実績なし	デリカフーズの生産者別品目別の仕入数量実績より算出 取引量457t/年 大根 1t キャベツ 120t レタス 197t トマト 42t 長茄子 38t 長葱 0t 小葱 11t みず菜 17t その他野菜 31t	デリカフーズの生産者別品目別の仕入数量実績より算出 取引量457t/年 大根 400t キャベツ 490t レタス 1,000t トマト 40t 長茄子 70t 長葱 20t 小葱 6t みず菜 50t その他野菜 27t	-6.5%	新型コロナウイルス感染症に係る二度の緊急事態宣言に伴い、外食需要が減少したため、生産者別品目別の取引量が457tとなり未達成となった。	耕種作物産地基幹施設整備 集出荷貯蔵施設 青果物流通拠点施設 配送加工施設 配送施設 4,053t/年 (うち加工施設 2,003t/年)	1,594,161,125	500,000,000	0	0	1,094,161,125	令和2年3月26日	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食需要が大幅に減少したことを受け、当施設の配送量・加工量ともに減少した。今後は目標達成に向け、コロナ禍でも堅調な大手ファーストフードやスーパー等、新たな販売先の開拓を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標達成に至っていない。販路拡大等、目標達成に向け今後も継続的に指導していく。		

都道府県平均達成率 50.0% 総合所見 本県において本年度の事業評価の対象となったのは2地区であり、成果目標は達成率90%で目標達成としている。本県の平均達成率は50%であった。筑前あさくら農協協同組合の乾燥調製貯蔵施設では、本事業により整備した乾燥設備の活用による品質向上や事業実施主体による高温耐性品種への誘導により、目標を達成することができた。今後も実需者に求められる品質をめざすため、品質向上の取組を支援していく。デリカフーズ株式会社の集出荷貯蔵施設では、全出荷量に占める契約取引の割合の目標及び基本契約を締結している生産者と中間業者の取引数量の目標、ともに未達成となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食需要が大幅に減少したことが目標達成に結びつかなかった外的要因もあるが、目標達成に向け今後も継続的に指導していく。

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合には、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。